



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

シニアと現役による第2回連携強化懇談会を開催

現役から「村田きょうこ」への支援活動への協力要請 シニアクラブから組織拡大の取組みへの支援要請

JAMシニアクラブ 中央本部は5月10日、JAM本部の会議室で22年度第4回三役会議を対面で開催し、7月投票の参議院議員選挙で「村田きょうこ」候補予定者を参議院に送り出す取り組み、参議院選挙の結果後になる9月から向こう1年間の活動方針を主要議題として討議しました。

さらには地球温暖化防止に向けた諸施策の実施を求めていくこと、③退職者連合とともに強化する取り組みとして「物価高と生活防衛の取り組み」「ロシアのウクライナ侵略に反対する取り組み」などの補強を提案。討議の結果、田中次長提案の補強とさらに次の点を補強することを確認しました。

第1に、物価高と生活防衛の取り組みでは、国際的な資源・食料の高騰、円安、ウクライナへの侵略が言われて

いるが、同時に岸田政権も引き継いでいるアベノミクスの失敗があることを明確にして政策対案を求めていくこと。

第2に、ロシアのウクライナ侵略に乗じて自民党が敵基地攻撃（反撃）能力の保有や防衛費のGDP2%への引き上げを提言し、岸田政権もその提言を

「村田きょうこ」候補予定者を参議院に送り出す取り組みでは、取り組みの開始が遅れたことよって「村田きょうこ」応援者の目

主な取り組みは、「村田きょうこ」応援者の目標を達成するために終盤まで継続して活動を展開すること、機関紙の配布（6月中旬必着）などでシニアクラブの会員の皆さんに「村田きょうこ」候補予定者を推薦していただくことを周知する活動を強化すること、告示後の選挙期間中は地方JAMと連携して電話による投票促進、棄権防止などの活動に取り組むことなどです。

後半の雇用も意見交換シニアクラブの三役会議後にJAM本部常勤三役との22年度第2回連携（裏面へ続く）↓

主張



2月24日のロシアによるウクライナへの侵攻以来連日テレビなどでその状況がリアルに報道されその惨状はまさに目を覆うばかりです。そしてそのことが私の遠い記憶に重なってきています。

昭和20年5月に私の生まれ故郷の横浜で大空襲があり、当時私は3歳、妹は1歳で母と3人で業火の中を逃げまどい九死に一生を得ました。私の断片的な記憶では避難する途中の家が焼けていたり、防空壕の中の水

我が国の憲法の前文にこうあります「日本国民は・・・平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」これを礎として憲法第9条（戦争の放棄など）が成り立っています。

「政治に無関心であっても、無関係ではいられない」と言われます。安全保障の如き大きなテーマから「年金・医療・介護」更には目下の「狂乱的な諸物価の高騰」まで、問題が山積しています。また、バブルが弾けて以降日本経済は低成長を余儀なくされ、賃金は上

「政治に無関心であっても、無関係ではいられない」と言われます。安全保障の如き大きなテーマから「年金・医療・介護」更には目下の「狂乱的な諸物価の高騰」まで、問題が山積しています。また、バブルが弾けて以降日本経済は低成長を余儀なくされ、賃金は上

私たちが大いに頑張っています。私たちが全力で支援しましょう。

その後の厳しい食料難は勿論良く覚えております。このような経験をした私たちは先の大戦を若干でも知っている最後の世代でしょう。この世代にとって戦争は「絶対悪」であり、非戦を唱える「平和憲法」は当然唯一無二のものと認識してきました。

この機会に憲法9条並びに日本の安全保障について

ウクライナ問題と平和憲法

茨城シニア会長 高石克己

「政治に無関心であっても、無関係ではいられない」と言われます。安全保障の如き大きなテーマから「年金・医療・介護」更には目下の「狂乱的な諸物価の高騰」まで、問題が山積しています。また、バブルが弾けて以降日本経済は低成長を余儀なくされ、賃金は上

私たちが大いに頑張っています。私たちが全力で支援しましょう。

